



いわいずみ



P2 議員報酬を増額
定数は1人減

P6 コロナ定期接種を開始

P8 町の考えを問う

(7議員が一般質問)

P13 どうなりゃんしたあの提言

シリーズ キラッと光る人 7

地域おこし協力隊に着任して2年の刈屋
翔磨さん(32歳)。畑わさび農家を目指しな
がら、有害鳥獣狩猟や特殊伐採、炭焼き、
短角牛串の販売などにも挑戦。「全てがつな
がりある仕事でやりがいがある」と笑顔で話
します。

最近、妻の法爾さん(35歳)とモルツ
クにはまっています。



議会からの提言書を中居町長へ手渡す菊地議長

議員は月2万円増 委員長報酬を新設

改正後の報酬月額
は、議長が2万1千円
増の30万円、副議長が
2万4千円増の25万
円、議員が2万円増の
23万円になります。
常任委員長と議会運
営委員長の報酬月額を
新設。これは、委員長
としての職責や職務が
一般議員よりも高いと
認められるためで、一
般議員の月額報酬に1
万円加算された24万円
となります。
議員報酬が改定され
るのは、平成9年以来
27年ぶりとなります。
これまで、本町議会
議員の報酬月額は、県
内19町村の中で10位で
した。今回の改定によ
り、紫波町、矢巾町、
一戸町、岩手町、栗石
町に次いで6位にな
ります。



議員のなり手不足解消に向け、報酬と定数を何度も討論してきました（議員会議の様子）

岩泉町議会 議員報酬（月額）

	現在	改正後
議長	279,000円	300,000円
副議長	226,000円	250,000円
常任委員長・議会運営委員長（新設）		240,000円
議員	210,000円	230,000円

岩泉町議会の議員定数の変遷

選挙執行	定数	人口：3/31 (議員一人当たりの人口)
S32年4月21日 合併後第1回 町議会選挙	30人	27,774人 (925.8人)
S52年4月24日	26人	20,402人 (784.7人)
S60年4月21日	22人	17,565人 (798.4人)
H17年4月24日	18人	12,517人 (695.4人)
H21年4月26日	16人	11,489人 (718.1人)
H25年4月21日	15人	10,690人 (712.7人)
H29年4月23日	14人	9,736人 (695.5人)
R 7年4月予定	13人	※7,929人 (609.9人)

※R6.6月末現在

議員定数は「現状維持」の方向で検討し、議員と語る会で説明。アンケート結果は、現状維持と定数削減が同数となりました。議員間で協議を重ね、人口減少などを踏まえ1人減の13人とす



議員と語る会
報酬・定数
アンケート結果
議会だよりNo.206
(23頁)

議員定数は1減 14人から13人に 議員発議で条例改正

ることに決定。議員の定数を定める条例改正案を議員発議で提出し、可決しました。



議員と語る会で町の皆さんの直接声を聴く

資質の向上に努め 信頼される議会に

町民の幅広い意見を集約し、地域社会の在り方を議論する議員。多様な人材が立候補しやすい条件を整えようと検討してきました。今回の増額決定を受けわれわれ議員一人一人は、不断の努力により資質の向上に努め、町民から信頼される議員、議会を目指しまい進していきます。基本条例推進委員長 畠山和英

議員報酬を増額 定数は1人減

本町議会では、次回の一般選挙（令和7年4月予定）に向けて、適正な議員報酬と定数の検討を重ねてきました。議員と語る会での町の皆さんのご意見も踏まえ、5月1日「町議会議員の報酬及び定数に関する提言書」を町長に提出。6月11日の定例会最終日に、町長から提出された議員報酬を増額する条例改正案を全会一致で可決しました。

議員のなり手不足 解消目指し提言書

議会基本条例推進委員会（畠山和英委員長）は、議会改革（※）の一環として、令和4年6月から議員報酬と定数の見直しを検討してきました。町の皆さんの意見を聞くため実施した議員と語る会アンケートでは、議員報酬の増額支

持が8割になりました。議員のなり手不足の解消、女性や若者などの参画による議会の活性化を目指し、報酬を増額する方針を決定。5月1日、中居町長に報酬と定数に関する提言書を提出しました。

報酬の引き上げ妥当 報酬等審議会が答申

提言書を受け開かれ

一層町民対話を重視し 議会参画へ取り組みを （報酬等審議会の答申 付帯意見）

議員のなり手不足解消には、報酬増額のみでなく、一層町民との対話を重視し、町行政の関心を深め、議会に参画させる取り組みが重要となる。町民の意思を反映した開かれた議会を目指す。常に議会改革に努め、全町的な視点に立った目に見える議会活動を期待する。

（※）町民の意思を反映した「開かれた議会」を目指すための取り組み



職員の業務用パソコン 230台

形状 ノート型 リユース品(※)
金額 2272万円
契約の相手方 (一社)おかえり集学校二升石集学校

財産の取得

小型動力ポンプ付消防ポンプ自動車

金額 2767万円
契約の相手方 互光商事(株)
配備先 第7分団第3部1班



安心・安全な暮らしを守る 町道中林線を拡幅整備

6年第2回定例会は、6月6日から11日まで6日間の会期で開きました。
6日と7日、一般質問が行われ7人の議員が登壇しました(質問の内容などは8ページから12ページまで)。
安心で安全な暮らしを守るための町道中林線の拡幅事業費などを含む6年度一般会計補正予算第2号など12議案を全て全会一致で可決しました。

町道中林線の拡幅 総額1730万円

一般会計補正予算は、町道中林線の拡幅事業1730万円など、3億1120万円を増額し、補正後の総額は103億3505万円になりました。

町道中林線は、拡幅し急カーブを改良することで見通しを改善。車や歩行者の安全の向上を図ります。

▽工事期間(予定)
令和6年11月から7年3月まで

子どもと妊産婦 医療費無償化へ

高校生など以下の子

ますの声



道が狭く急カーブ特に気を付け通行
坂下美保子さん(岩泉・39歳)
道が狭く、急カーブで街灯も少ないので、通行時は特に気を付けていました。通学路でもあり、見晴らしが良くなれば安心して通行でき、ありがたいです。

ども(※)と妊産婦の医療費を無償化する条例改正を可決。令和6年8月1日以降の受診分から無償になります。【関連7ページ】

おしえてぴーちゃん



(※) リユースって何?

リユースとは、レンタルやリースで使用されたパソコンをメンテナンスして販売(再利用)することです。捨てられるはずだったパソコンを再利用することは、SDGsへの貢献にもつながります。新品を購入するより、コストもかなり削減されます。

教育委員の再任に同意

岩泉町教育委員会委員の三上亜希子さん(釜津田・50歳)を再任することに同意しました。任期は6月28日から4年間です。



工事契約



岩泉町民会館の屋根改修工事

金額 7755万円
請負者 (株)畑中組

請願

1件を 継続審査

1件の請願が提出され、総務常任委員会(畠山昌典委員長)に付託。審査の結果、継続審査となりました。

◆現行の健康保険証を残すことを求める請願

* 請願人 岩手県社会保障推進協議会

* 紹介 会長 佐藤嘉夫

* 付託先 議員 林崎寛次郎議員

* 請願の要旨 総務常任委員会

政府は、現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止し、マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ「マイナ保険証」にすることを閣議決定。しかし、マイナ保険証でのトラブルが続出し、患者や国民の間に不安が広がっている。現行の健康保険証を残すよう求める意見書を提出すること。継続審査

請願とは?

町民の皆さんの意見や要望などを町政に反映させる制度です。作成方法は次のとおりです。

- ① 請願の要旨や内容を簡単に分かりやすく記載してください
- ② 1人以上の紹介議員が必要です
- ③ 請願書は定例会中に審査します
- ④ 提出先は議会事務局です

* 審査の結果

継続審査

急カーブで見通しが悪く、幅員が狭いためすれ違いに必要な町道中林線

(※) 18歳になった後の最初の3月31日までにある者

コロナ定期接種を開始



コロナワクチンの定期接種は本年秋から開始

条例補正予算審査特別委員会（早川ケン子委員長）は6月11日、付託された条例3件、補正予算4件を審査。全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。

本年度から、自治体による新型コロナワクチンの定期接種（※）を開始。費用助成や自己負担額の質疑がありました。

ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

防 個人負担はどれぐらいか 予 3000円程度の見込み

問 歳入で新型コロナウィルス接種助成金が雑入になっていく。どこから助成されるものか。

答 一人当たり1万5300円の接種費用を見込んでいる。

問 国の基金管理団体である一般社団法人新薬・未承認薬等研究開発支援センターから助成金が入る。

答 国からの助成金は8300円と想定される。残りの7000円のうち、町が4000円を助成する予定。個人負担は3000円程度となる。

問 個人負担はどれぐらいか。

ますの声

助成あれば接種したい 佐々木祥利さん（岩泉・85歳）
コロナワクチンの予防接種に助成があればありがたく、受けたいです。インフルエンザの予防接種も毎年受け、安心していました。



議決された議案の一覧は町のホームページで確認できます。



(※) 法律で接種することが定められているワクチン。自治体が主体となっていく接種

マイナカード未取得者は 資格確認書を交付し対応



医療機関などでの利用率が伸び悩むマイナ保険証

問 国は、本年12月2日から現行の健康保険証の発行を廃止し、マイナンバーカードの保険証に移行する考えである。マイナンバーカードの取得が必要になるが、現在、本町のカード取得率は、

答 6年5月末時点でマイナンバーカードの取得率は76・6%となっている。岩手県は78・9%、全国では79・4%である。

問 残り約24%の取得は、現在どのよう

答 国から示された手順では、国民健康保険証は本年8月1日付で更新・交付し、有効期限の来年7月31日までは使用できる。その後はマイナ保険証を使用することになるが、取得していない被保険者に対しては、資格確認書を交付する対応となる。

環 境 再エネ可能性の調査は 太陽光、小水力を先行

問 庁舎、学校などに設置してある太陽光発電の発電量や経費削減のデータは取っているか。

答 発電量はあるが、経費関係は押さえていない。発電と賄った分の精査をし、さらに事業採算性を含め調

査する。

問 自前でのエネルギー供給は、太陽光では難しいと考える。水力や風力発電にシフトしたほうが良いのではないか。

答 水力は、河川がた

能性箇所をピックアップする。風力は、投資額が大規模で自前は無理だが、マイクロのような形は今後出てくる。太陽光は、日照の関係で全体的には難しい。自主電源としては、水力がメインと考えている。

問 バイオマスは、この調査事業では対象にならないのか。再生エネに取り組む全体の中ではどうか。

子育て 医療費無償いつからか 8月受診分から対象

問 18歳までの子どもと妊産婦の医療費が無償化となる。実施はいつからか。

答 8月の受診分からが対象。7月までは自己負担が発生する。

答 7月号の広報いわずみでお知らせする。対象者は約700人で、新たな受給者証を交付する際、個別の通知も予定している。

問 地域おこし協力隊の募集などで子育て支援を織り込むと、さらなる呼び込みにつ

まして ぴーちゃん

子どもの医療費無償化は、県内33市町村中、22市町村が実施しています。（R6.4.1現在）

答 本町では子育て環境の充実化に取り組んでいる。関係課で協力し、町外にも広く発信していきたい。

ながっていく。外部へ向けた発信の考えは。



岩泉町再生可能エネルギー推進計画

答 今回の調査に、バイオマスは入っていない。再生可能エネルギー推進計画ではバイオマスも盛り込んでいる。家畜ふん尿や木質など研究し、実施に向け取り組んでいく。今回は、太陽光、小水力発電の導入調査を先行する。

7人の議員が登場



町の考えを問う



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。スマートフォンはこちらから。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。6月定例会では、7人の議員が登場し、町政課題への提言や質問を行いました。

坂本 昇 議員 (9ページ) ●若年女性の人口減対策は

畠山 昌典 議員 (9ページ) ●過去質問の現状と見通しは

*その他の質問
いわずみ短角牛消費拡大・PRは男女共同参画の推進状況は

三田地久志 議員 (10ページ) ●人口減対策の取り組みを

千葉 泰彦 議員 (10ページ) ●地域商社の実現は

佐藤 安美 議員 (11ページ) ●早急な獣医師確保対策を

林崎竟次郎 議員 (11ページ) ●歩道の早急な改善を

*その他の質問
住宅等への太陽光発電設置への補助制度の創設を

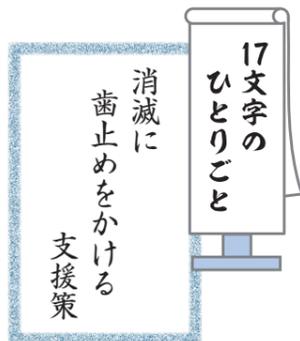
畠山 和英 議員 (12ページ) ●牛追の道を歩くトレイルを

*その他の質問
早坂高原受入環境整備：自然環境、景観の保全と活用
早坂高原公衆トイレの改修整備
多彩な“催し”の開催と宣伝・PR活動の充実強化



坂本 昇 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 若年女性の人口減対策は

「保」など、居住環境の整備や町内で働ける場の充実にも取り組んできました。

町全体で子育てを支える環境が向上したと考

「子育て応援住宅の整備」「第三セクターによる雇用の場の確

これは、明るいニューズである。町の主要施策に照らし合わせ、どう評価し、今後さらにもどのように推進していくべきと捉えているか。

町長 「こども園の保育料の無償化」「18歳までの医療費無償化」「小中学校の学校給食費無償化」を実施し、



手厚い子育て支援で、女性のさらなる活躍を

問 過去質問の現状と見通しは

答 各課題を引続き前に進める

町場企業の経営安定の支援や地域特性を生かしたイベントの開催など具体的な構想、民間との連携は。

町長 中小事業者に対する各種支援や町内の消費拡大事業に取り組みとともに、地域の特色を生かしたイベント



スポーツ活動は心身の健やかな成長に役立ちます

強化の状況は。

も開催している。これらを強化・継続するため、町内のみならず、外部の民間資金や人材の活用も調査研究し人口減少に歯止めをかける取り組みを進める。

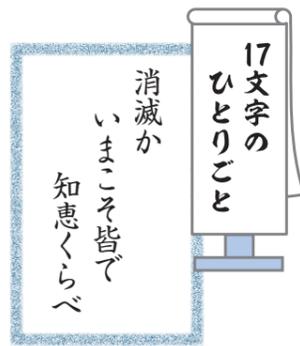
問 一般社団法人岩泉町スポーツ協会の組織

今後、協会の役員と協議し、円滑な運営が図られるよう取り組む。



畠山 昌典 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから





質疑のその後

どうなったか... あの提言

送風機を12基設置

大牛内育成牧場の環境整備

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

大牛内育成牧場の送風設備設置工事費など新年度予算案を可決しました。

令和6年3月定例会

6年5月
送風機10基を設置
工事費用 179万円

5年10月
送風機2基を設置
工事費用 56万円



問 大牛内の育成牧場は、送風機などの風を送る設備が無く、牛にとって非常に悪影響を与える。獣医師が言っていた。来年度に向け、早ければ本年度中に、牛のためにも人のためにも送風機を設置すべきではないか。

答 大牛内育成牧場の環境は、大変古くなっており5年度に畜舎の増築工事を行った。執行残で何か必要な環境改善がないか伺ったところ送風機ということで、2基設置する方向で進めている。

令和5年9月定例会



ますの声
中村 匡志さん 暑さに弱い牛のストレス軽減に
(小川・35歳) 送風機設置は、暑さに弱い牛のストレス軽減になると思います。適期での受精や食欲減退の軽減も期待でき、農家のコスト削減が図られ経営にもプラスになると考えています。



暑すぎる夏、牛が快適に過ごせるように

おしゃべりちゃん

大牛内育成牧場は、受け入れ頭数の増頭を図るため、昨年度、入牧管理牛舎の増築と育成牛舎の一部を改修しました。
預託頭数は **196頭 (14戸)**
令和6年5月末時点



畠山 和英議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 いにしえに、沿岸北部と内陸盛岡を結ぶ重要な物流・交易の道であった小本街道。この「牛追の道」を歩くトレイル整備を考えてはどうか。



カタクリ再生大作戦の再開を

問 牛追の道を歩くトレイルを

答 活用可能性を調査研究する

あるが、歴史的な価値を有する側面もある。今後、活用の可能性を調査研究していきたい。

問 早坂峠道路筋のカタクリ群落を維持し、広く町内外に周知をしていくため、町民らの協力を得て行う発生環境整備を再開すべきだ。森の日事業・植樹祭、育樹祭を実施してはどうか。

町長 カタクリ再生大作戦は、早坂高原の魅力発信やコミュニティの醸成にもつながる取り組み。今後、愛好者や専門家の意見を聞きながら検討していく。

町長 早坂高原の植樹・育樹事業は、都市住民との交流事業など実効ある実施を検討したい。

傍聴者の声

6月定例会の傍聴者は延べ20人でした。傍聴された小川の榎谷さん・川村さんから感想や議会に対する声を聴きました。



榎谷優美子さん・川村陽子さん
(小川地域振興協議会 推進員)

気軽に意見が言える環境を

える環境があれば良いなと思います。川村さん 議会だよりをいつも見えています。読みたいと思わせる紙面づくりや町民登場が多く、素晴らしいと思います。



お気軽に傍聴にいらしてください

傍聴のきっかけは
川村さん 議会や議場とは縁がないと思っていましたが、のぞいてみたい気持ちもありました。今回、研修で社会科見学みたいに傍聴できてよかったです。

傍聴した感想は
榎谷さん 町長をはじめ、職員の方々の

議会に対する要望は
榎谷さん なかなか議員さんの活動を見る機会がありません。議会をSNSなどで発信したり、気軽に意見が言

んと議員の皆さんどちらでも、緊張感がある中で広い分野のさまざまな議論をされています。観ていて頼もしい気持ちになりました。



議会で取り組む
5つの重点課題
議会だよりNo.206
(4・5頁)

常任委員会 令和6年度重点課題

- 01 教育
- 02 意欲向上
- 03 雇用創出
- 04 所得向上
- 05 身近な議会

産業

安家地区の牧道復旧状態を調査

04
所得向上

産業常任委員会（三田地久志委員長）は5月23日、安家地区での議員と語る会で要望があった、黒森・穴目・鈴峠牧野の牧道（※）の現地調査を行いました。

◆議員と語る会で出された要望

放牧地の道路は明らかに仮復旧で、降雨で壊されては仮復旧で対処。家畜農家は高齢化で飼養家畜も減少している。春になったら上げ、秋には下げられるような道路を造ってほしい。現場に足を運び見てほしい。

現地調査の結果、対応済みであり現況をよとする。

穴目牧野の牧道 (約8km)

昨年の台風により崩落した箇所を調査しました。

- ① 対応済みであることを確認
- ② 泥上げをした側溝を視認
- ③ 水切り用のゴムマットが設置済み



穴目牧道に設置された水切り用のゴムマット

黒森牧野の牧道 (約7km)



黒森牧道に設置された看板【県有林事業のための仮設道路】

黒森牧野の牧道は、県有林事業のための仮設道路です。

平成28年台風10号により崩落した2箇所を調査しました。

家畜車などの往来に支障が無いよう応急対応済みと確認

鈴峠牧野の牧道 (約1km)

牧道表面の雨水による流失を調査しました。

今後の施工となることを担当課に確認

牧道の出口側

県道普代小屋瀬線の通行止が解除されていることを確認

総務

町の強みなど意見交換

町商工会青年部の皆さんと「語る会」

02
意欲向上

総務常任委員会（畠山昌典委員長）は5月31日、「町民の意欲向上」のためには地域経済の活性化が重要と捉え、町商工会青年部の皆さんと「議員と語る会」を開催しました。町の強みや足りないもの、イベントの在り方などを意見交換しました。

岩泉町の強みは何か。

龍泉洞、まつたけ、短角牛など資源がたくさんある。豊富な水源。マイク口水力発電など地域の電気を地産地消するポテンシャルがある。地域おこし協力隊。活動の自由度、金額が高い。選ぶ一つの要因になっている。岩泉を上回るところは少ない。

龍泉洞まつりの一切を

受託する考えはないか。

運営を青年部でやるのは難しい。ブースを出すのは十分あり得る。

地域振興協議会や地域活動への参加意識は。

地域活動は生きがい対策も含め、引退された人などに頑張ってもらいたい。商売につながるような事業の受け皿などを若者が担えば持続可能な町になる。



(有)たけや箱石 大樹さん

道路が整備され、町への滞在時間が短縮。龍泉洞プラス何かで滞在時間を延ばし宿泊につなげたい。



横屋建設(株) 工藤 大三さん

自然で遊ぶ体験などで滞在時間が伸ばせるのでは。宿泊はキャンプ、ニーズあと思う。



(有)ナガサワ長澤 潤一さん

短角牛やマツタケなど資源は豊富。ブランド力を上げ、付加価値を付けた高い価格設定を。



岩泉商工会 大沢 孝介さん

龍泉洞の集客を最大限に生かすため、ペイペイなどで期間限定の還元をやっては。



(有)差畑林業 差畑 正樹さん

サッカー場がほしい。大人も子どももたくさん来て、経済的効果があるのでは。



(株)岩泉電工 東野 健司さん

病院受診など困るとの声を聞く。何でも町内で完結できれば住みやすい町に。



meet me 谷田川 雅基さん

人と人のつながりが町への愛着を生み、また来たくなる。創業支援の充実も必要。



教育行政の課題を拾い出す

総務

01
教育

教育の課題を探る現況と見直し調査

6月3日、「教育」における課題を明確化するため、教育委員会事務局からの聞き取り調査を実施。児童・生徒数の今後の推移や中学校部活動の地域移行、不登校、スクールバスなど現況と課題、見直しを一つ一つ確認しました。

(※) 牛舎から放牧地を行き来するための通路。家畜の牛や人、トラクターなどの重機が往来。

課題を探り、 地域づくりに生かす

岩泉地域振興協議会

05
身近な議会

6月3日、岩泉地域

振興協議会（八重樫康会長）が主催する「岩泉の未来を語る会」が開かれました。地域課題の解決策を探り出し、未来の歩むべき方向・方策を議員を交え語り合い、地域づくりに生かす目的です。

参加者からは、観光振興や地域づくり、スポーツ環境など幅広く提言が出されました。本年10月までに3〜5回の開催を予定しています。

【所感】

町民自ら町のことを考え、未来に向けた地域づくりに取り組まれています。地域課題は議会も共通認識であり、今後の展開が期待されます。（坂本昇）

◆主な意見

- ・ 龍泉洞観光客を町内に分散させる施策を町を一つの会社にしてブランド化すべき
- ・ 自治会の世帯数が減少している。合併する時期では
- ・ 地域資源をどう活用していくかが重要



幅広い意見が出され、活発な話し合いになりました
出席議員：八重樫龍介議員、坂本昇議員、林崎寛次郎議員、三田地久志議員、畠山昌典議員（5名）

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの?という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。（全日程はQRコードで）



議会の動き

4月

- 22日 議会運営委員会（役場）
第3回臨時会（議会議事堂）
議員会議（役場）
- 23日 宮城県多賀城市議会
広報特別委員会視察対応（役場）

5月

- 5日 龍泉洞安全祈願祭（町内）
- 14日 国道340号宮古岩泉間整備促進期成同盟会通常総会（宮古市）
- 20日 宮古広域圏地域情報交換会（宮古市）
- 23日 産業常任委員会所管事務調査（町内）
- 31日 町村議会議員研修会（盛岡市）

6月

- 3日 議会運営委員会（役場）
- 6日 第2回定例会
一般質問（議会議事堂）
- 7日 一般質問（議会議事堂）
- 11日 条例補正予算審査特別委員会（役場）
本会議（議会議事堂）
- 20日 岩泉町消防団消防演習（町内）

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 9月12日(木) 本会議・一般質問
- 13日(金) 一般質問
- 17日(火) 条例補正予算審査・本会議
- 18日(水) 決算審査
- 19日(木) 決算審査
- 20日(金) 決算審査・本会議

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

広報広聴常任委員会

委員長	千葉 泰彦
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫龍介
	坂本 昇
	畠山 昌典
	和英
	昌典

▽今回の定例会で、町議会議員の報酬を増額改定する議案が可決。27年ぶりの改定です。議会ではこれまで、議員定数と報酬の在り方を幾度となく議論。町の皆さんとの語る会でさまざま意見を出され、結論を見出してきました。結果、定数1減と報酬増額を町に提言。審議会の答申書では「町民との対話を重視し、全町的な視点に立つて目に見える議会活動を期待する」との意見もいただきました。我々議員一人一人がそのことを胸に刻み、しっかりとした議員活動を行ってまいります。

広報広聴常任委員
畠山 昌典

編集後記



古紙のリサイクルに取り組みます。森の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問一答」を使用しています。

